

CSR REPORT 2022

自らが変革の中心となって
壁を乗り越え、次のステージへ

I. 河内長野ガスグループ概要	1
II. Top Message 社長のメッセージ	4
III. 河内長野ガスグループのCSR活動に関する考え方	5
IV. 安心・安全への取り組み	8
V. 快適な生活をご提案	14
VI. 子どもたちの明るい未来のために	22
VII. 働きやすい職場づくり	27
VIII. コンプライアンスの取り組み	30

I 河内長野ガスグループ概要



1 河内長野ガス株式会社 会社概要

商号	河内長野ガス株式会社	
設立	1961年9月	
資本金	3,000万円	
売上高	18億8,000万円(2022年3月期)	
役員	代表取締役会長	山本 明彦
	代表取締役社長	吉田 顕
	取締役	山中 一恭
	取締役	田中 聖明
	取締役	安川 浩
	社外取締役(公認会計士)	田淵 正信
	監査役(弁護士)	吹矢 洋一
	執行役員	松浦 成夫
従業員数	50名(2022年3月末現在)	
所在地	大阪府河内長野市昭栄町14-31 TEL. (0721) 53-3561 (代) URL. http://www.naganogas.co.jp	
事業内容	1. 都市ガスの供給事業 2. ガス工事の請負 3. ガス機器の販売 4. 電気の販売事業	
関連会社	(株)リビングセンター長野	
主要取引銀行	三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行	
主要供給先	河内長野市役所、大阪南医療センター、日本農薬(株)、モリ工業(株)、NTN(株)	
主要仕入先	大阪ガス(株)、(株)ノーリツ、リンナイ(株)	



河内長野ガスグループ社屋

河内長野ガスグループ
マスコットキャラクター
ふらむちゃん

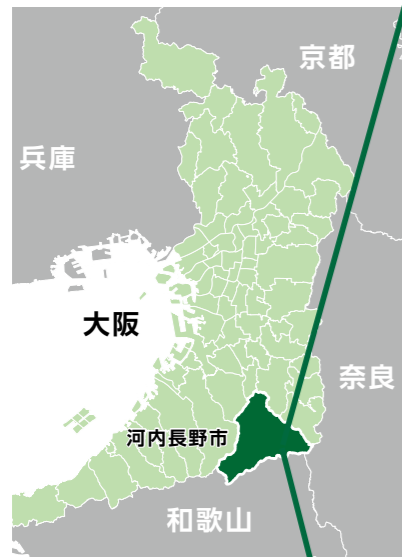
沿革

1961年 9月 設立	2014年 2月 エネルギーマネジメント規格 ISO50001認証取得 (2019年3月 認証返上)
1962年 7月 事業開始、需要家件数172件	2014年 5月 新社屋(災害時支援施設)竣工
1973年 2月 需要家件数 5,000件	2016年 7月 小口電力(KGでんき)販売開始
1985年 1月 リビングセンター(旧社屋)竣工	2022年 3月 需要家件数(メーター取付数) 24,871件
1985年 4月 需要家件数10,000件	
1991年 1月 ブタンエアース6Aから天然ガス13Aへ熱量変更作業開始	
1991年 3月 全戸 天然ガス13Aへ熱量変更完了	
1991年 9月 需要家件数 15,000件	
1994年 2月 リビングセンター増築竣工	
1996年 9月 需要家件数 20,000件	
1996年 12月 供給管理センター竣工	



リビングセンター(旧社屋) 供給管理センター

都市ガスの供給区域



導管延長(2022年3月末時点)	
中圧A	374m
中圧B	24,621m
低圧本管	94,170m
低圧支管	146,881m

2 株式会社リビングセンター長野 会社概要

商号 株式会社リビングセンター長野

資本金 1,000万円

売上高 4億3,900万円(2022年3月期)

役員
 代表取締役社長 吉田 顕
 常務取締役 山中 一恭
 取締役 山本 明彦
 取締役 松浦 成夫
 監査役(公認会計士) 田淵 正信



従業員数 13名(2022年3月末現在)

所在地 大阪府河内長野市昭栄町14-31
 TEL. (0721) 52-5270(代)
 URL. <http://www.livingcenter-nagano.co.jp>

事業内容
 1. 住宅リフォーム事業
 2. 液化石油ガス事業
 3. 各種住設機器の販売施工

関連会社 河内長野ガス(株)

主要取引銀行 三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行

主要納入先 (株)ガイドー、大阪安全衛生教育センター、大和開発観光(株)、社会福祉法人 生登福社会

主要仕入先 TOTO(株)、クリナップ(株)、タカラスタダード(株)、岩谷産業(株)、シナネン(株)、伊丹産業(株)

許認可等
 建設業 大阪府知事許可(般-29)第69990号
 二級建築士事務所 大阪府知事登録(い)第9482号
 河内長野市排水設備工事指定業者 第94号
 河内長野市給水装置工事事業者 第0082号
 液化石油ガス(LP)販売許可 27A第0932号
 液化石油ガス保安機関認定番号 27A0177RA
 大阪府住宅リフォームマイスター事業者登録

沿革

1979年 11月	長野配管(株)としてスタート
1985年 11月	リフォーム事業開始
1988年 11月	現社名「株式会社リビングセンター長野」に商号変更
1990年 4月	プロパンガス(LP)販売事業開始
2009年	「家じゅうまるごとサポート」開始
2022年 3月	需要家件数(メーター取付数) 985件

II Top Message

社長メッセージ

平素から、河内長野ガスグループに格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この程、河内長野ガスグループによるCSR(企業の社会的責任)活動報告として6冊目にあたるCSRレポート2022を作成いたしました。是非、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

2021年も前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症によって今日まで多くの方に被害が出ており、社会経済活動に甚大な影響を与えた年となりました。河内長野ガスグループの事業活動においても、商・工業用事業者の皆さまの時短や休業、各種イベントの中止、外出制限等による大きな影響が出ましたが、お客さまや従業員の健康と安全の確保を前提に感染防止策を徹底し、エネルギーの安定供給を継続するなど、社会機能の維持を果たすことを最優先に取り組んでおります。

また、新型コロナウイルスのみならず、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を防ぐ「脱炭素化」が求められるといった、河内長野ガスグループを取り巻く事業環境についても、ここ数年で随分と変化しました。こういった事業環境や社会の変化にもしなやかに対応することで、お客さまからの信頼獲得、そして更なる地域発展に貢献することを目指しております。また、SDGsへの取り組みは世界の課題のみならず、地域の課題解決へ繋がると信じ、引き続き活動を続けて参ります。

河内長野ガスは、2022年7月3日に創業60周年の節目の日を迎えます。この60周年を迎える年を第2の創業の年と位置づけ、持続可能な会社へ成長して参ります。

CSRレポートを通じ、少しでも河内長野ガスグループの取り組みを知っていただけますと幸いです。引き続き皆さまのご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月吉日



河内長野ガス株式会社
株式会社リビングセンター長野
代表取締役社長

吉田 顕

III 河内長野ガスグループのCSR活動に関する考え方

河内長野ガスグループは、「地域の活性化に貢献する企業グループ」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的かつ安心して安全にお使いいただくこと、リフォーム事業を通じて健康で快適な住まいを提案していくことを通じ、企業としての社会的責任を全うし、SDGsの達成とあわせて地域のために貢献して参ります。

河内長野ガスグループ従業員の大事な行動指針である「私たちの約束」は、持続可能な社会の実現を目指し、地域の皆さまとの信頼関係を築いていくための指針となっています。

これからも河内長野ガスグループはお客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼されるために、コンプライアンスを一層徹底し、選択される企業グループであり続けたいと考えています。

① 経営理念体系

1. 経営理念

地域の活性化に貢献する企業グループ

2. 長期ビジョン(あるべき姿)

1. 地域のお客さまの笑顔ナンバーワン企業
2. 地域のお客さまに最も信頼され、支持される企業

3. 私たちの約束(行動指針)とSDGs

1. 私たちはお客さまの安心・安全を第一に行動します。



2. 私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。



3. 私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。



4. 私たちは思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくります。



5. 私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、社会人として責任ある行動をとります。



4. 中期計画 基本方針

地域と共に成長を目指す

5. 2022年度 スローガン

自らが変革の中心となって壁を乗り越え、次のステージへ

② CSR活動とSDGs

河内長野ガスグループの主たる事業基盤である河内長野市も、日本の多くの都市と同様、少子高齢化による人口減少が著しく、多くの地域課題を抱えています。

これらの地域課題の解決にむけて、事業活動や地域貢献活動をSDGsの視点で取り組んでいくことが河内長野ガスグループの社会的責任であると考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの目標項目を表す17のアイコン

1. SDGs部会活動について

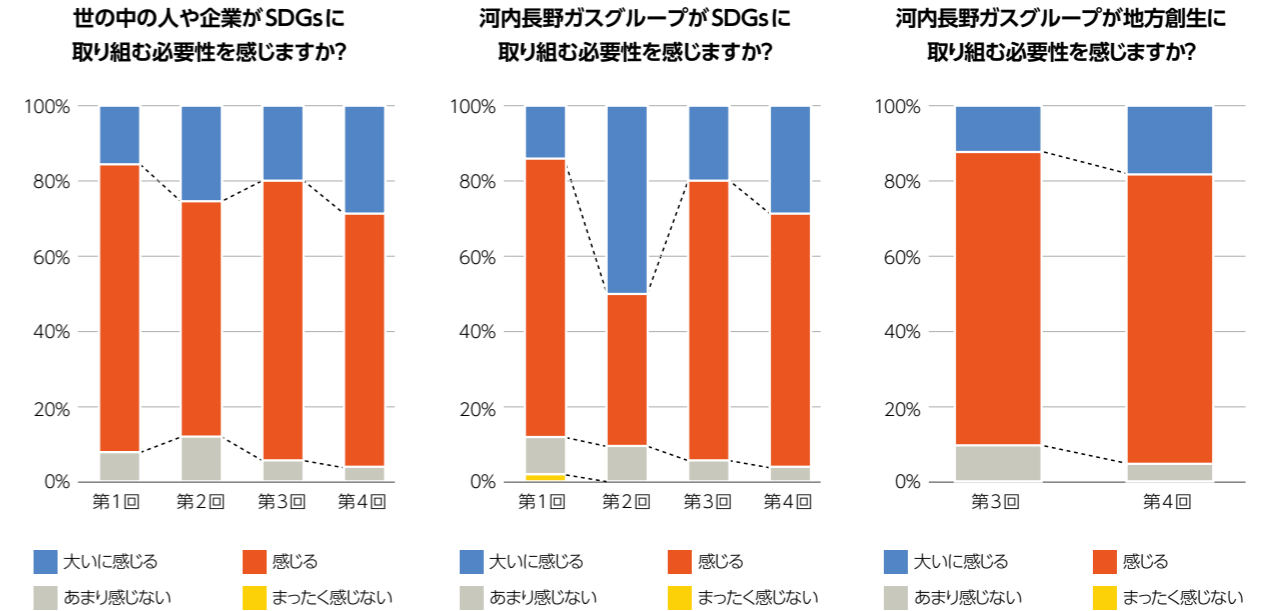
2021年度は「地方創生とSDGs」、「事業計画へのSDGs目標の落とし込み」をテーマにして活動しました。主な活動内容は以下の通りです。

●活動内容一覧

- ・部会メンバー及び管理職対象研修会
- ・全従業員対象研修会
- ・事業計画に落とし込むSDGs目標をグループワークで検討・提案
- ・従業員対象SDGsアンケート(2021年度は2回)
- ・従業員向けSDGsニュース配信(27回)
配信ニュース一例:導管事業部の耐震性に優れたガス導管への入れ替えにおける取り組み
ショールームの地域貢献活動への取り組み
自家発電とCO2削減を実現するエネファームの紹介 他
- ・各事業部のSDGs数値管理

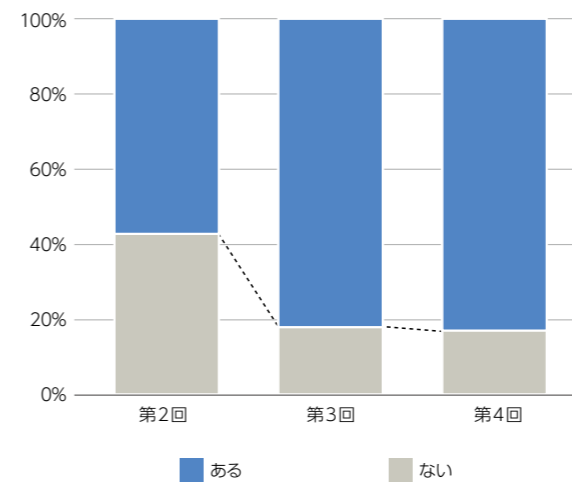
●河内長野ガスグループ従業員対象SDGsアンケート結果

河内長野ガスグループは、過去4回従業員(役員を含む)に対してSDGsへの取り組み意識を調査するアンケートを行いました。

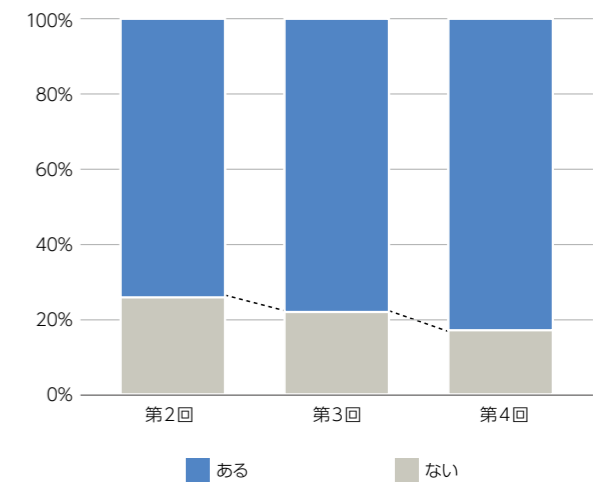


アンケートの回を重ねるごとに、SDGsの必要性を“まったく感じない”や“あまり感じない”の比率が下がり、SDGsに対する前向きな姿勢が形成されていったことが確認できた。

日常生活の中ですでにSDGsを意識した行動をしたことがありますか?



業務の中でSDGsを意識した行動をしたことがありますか?



日常生活や業務の中ですでにSDGsを意識した行動をしたことがあるという割合の増加も従業員(役員含む)のSDGsの意識の高まりを裏付ける結果となった。

IV 安心・安全への取り組み

私たちの約束1

私たちは、お客さまの安心・安全を第一に行動します。



1 保安体制について

私たちは、都市ガス・プロパンガス (LP) を供給する企業として、お客さまの安心・安全に向けた取り組みをしています。

① 保安体制について

1. 安心・安全の保安体制 (365日・24時間の緊急出動体制)

私たちは、お客さまからの通報等の緊急事態 (ガス漏れや火災等) に備え、迅速に対応できるよう出動体制を常に整えています。



緊急車

2. 都市ガスの安定供給と監視システム

お客さまに安定してガスをお届けするために、都市ガスの受入設備や供給区域内に17カ所ある地区整圧器のガスの圧力や流量を通信システム (テレメーター) で常に監視しています。



供給管理室

異常があれば警報が発報し、迅速な対応を行い、安定供給に努めています。

3. プロパンガス (LP) の安心・安全に向けた取り組み

リビングセンター長野では、お客さまへの更なる安心安全をお届けするため2020年度よりプロパンガス (LP) をご利用のお客さま宅に遠隔監視システム (LPWA*) の設置を始め、2021年度には普及率54.7%に達しました。

来年度は、普及率70%を目指し更なる保安の確保及びお客さまサービスに努めてまいります。

この度、2022年3月14日に「第二号認定液化石油ガス販売事業者*2) に認定されました。



*1 LPWAとは「LowPowerWideArea」の略で「長距離のデータ通信」「低消費電力」という2つの特徴を満たしている無線通信技術です。またリビングセンター長野より遠隔操作により検針・緊急時のガスの停止等が行えるシステムです。

*2 第二号認定液化石油ガス販売事業者とは「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、一般消費者等の保安を確保する手法として、いわゆる集中監視システム等を導入し、LPガスの保安の高度化に特に積極的に取り組んでいると認定を受けたLPガス販売事業者のことをいいます。

● LPWAのイメージ図



4. ガス導管の維持管理

お客さまに安全にガスをお届けするため、定期的にガス導管のガス漏れ調査や、各種ガス設備の点検を行っています。

また、他工事 (水道、下水、電気、電話工事など) によるガス管の破損防止のため、他工事業者との事前の協議や工事現場での立会・パトロールなどを行っています。



カート式ガス検知器によるガス漏れ調査

5. ガス導管の延伸・都市ガスの普及

私たちは、1件でも多くのお客さまに都市ガス (13A) をお使いいただけるように計画的にガス導管の延伸を行い、都市ガスの普及に努めています。

② お客さまが安心・安全にガスをご利用いただくために

1. ガス警報器・CO警報器の取付意義と取り付け状況

ガス漏れ事故のほとんどは、「ガスをつけたつもり」「ガス栓を閉めたつもり」「すぐにもどるつもり」など「うっかりミス」が原因となっています。「ガス警報器」を正しく設置していれば適切に作動して、人のうっかりミスによる事故の防止につながります。

河内長野ガスグループは、ガス漏れ事故を未然に防ぐため、ガス警報器の取り付けを推奨しています。

● ガス警報器新規取台数

年度	都市ガス用警報器		プロパンガス (LP) 用警報器	
	台数	普及率	台数	普及率
2021年度	339	39.33%	57	77.10%
2020年度	402	38.92%	46	77.70%
2019年度	274	38.06%	29	78.00%

● 都市ガス用



yp-776 (壁取付用)



XW-225G (天井取付用)

● プロパンガス (LP) 用



MC-325 (壁取付用)



APH-40N

2. ガス設備法定点検

河内長野ガスグループでは、「ガス事業法」に基づき、4年に1度、お客さまがガス設備を安全にご使用いただけるように、ガス事業者が義務付けられた「ガス設備法定点検」を実施しています。

ガス事故を未然に防止し、お客さまの身体と資産を守るため、お客さまにおかれましては、ガス設備法定点検の際にはご協力いただきますよう、お願いします。

●ガス設備点検実施件数

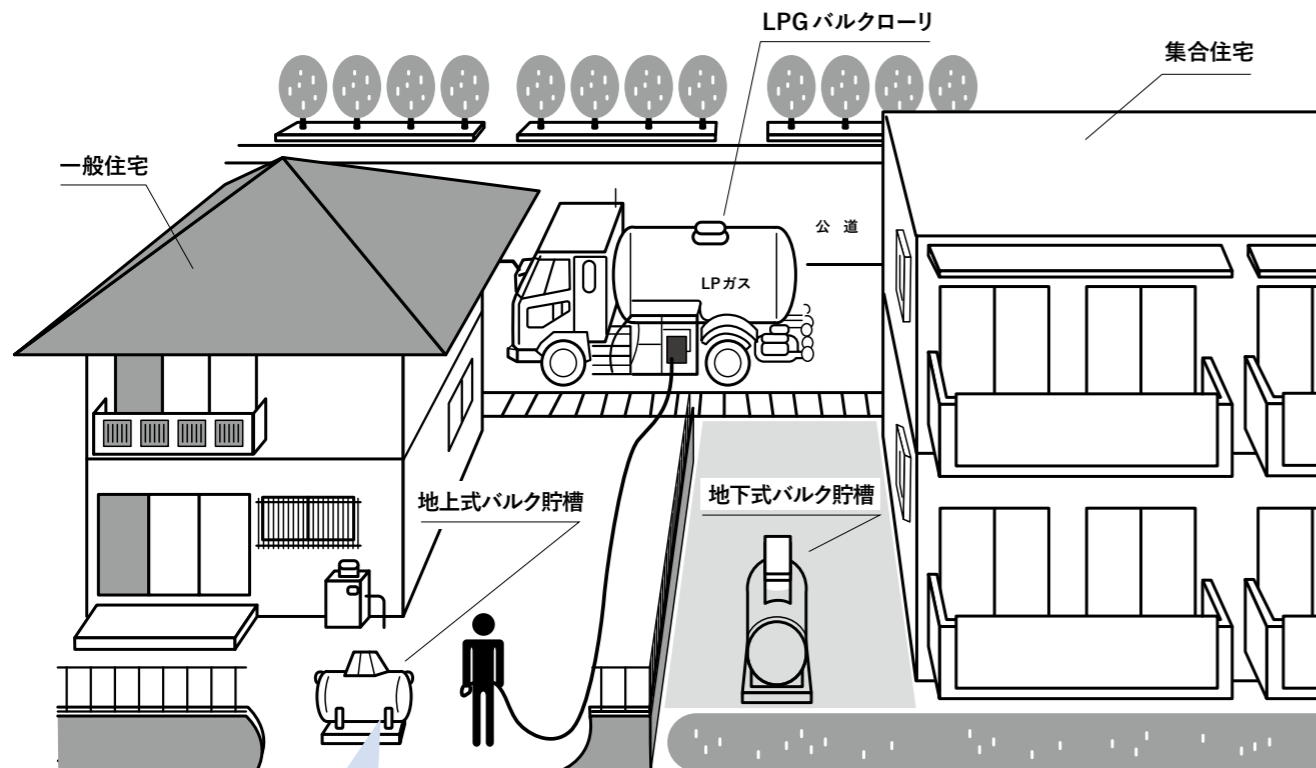
(件)

	都市ガス	プロパンガス (LP)
2021年度	5,369	160
2020年度	4,628	220
2019年度	5,002	242

3. プロパンガス (LP) のバルク供給について

バルク供給方式とは、従来の容器交換方式ではなく、集合住宅、業務用等に設置されたバルク貯槽に、バルクローリーで直接プロパンガス (LP) を充てんする供給方式です。

従来のガス充てん容器のように、LPガス容器とガスホースのつなぎ替えをする必要がなくなり、人為的ミスの防止や、また地面への固定による転倒防止など保安面の向上という利点もあります。リビングセンター長野のバルク供給方式によるガスの供給は20数年の実績があり、バルク貯槽は製造後20年が経過すると告示検査を行うか、くず化を行うよう液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律で定められています。リビングセンター長野では20年を経過する前に新たなバルク貯槽の入替を実施しており、2021年度も2基のバルク貯槽の更新入替を完了しました。



バルク供給のイメージ



バルク貯槽

2 防災についての取り組み

私たちは、災害の発生に備え、河内長野市と協力関係を築くなど様々な対策を実施しています。

① 河内長野市との防災協定

河内長野ガスグループは、2014年の社屋の建て替えにあたり、産官民協働で平常時から「地域力」を活かす災害支援拠点づくりを目的として、2012年5月に河内長野市と「災害時における支援協力に関する協定」(防災協定)を締結しました。この協定は、元神戸大学 紅谷特命准教授を座長に招聘し、河内長野市、長野小学校区まちづくり会議、河内長野市社会福祉協議会、市民公益活動支援センターで構成される勉強会を経て、「災害時における支援協力に関する細目協定」(細目協定)として具体化されました。平常時は、社屋の一部施設を地域ネットワークづくりや地域防災力の向上のために提供し、災害時は、河内長野市からの要請を受け、「災害時支援施設」であるショールームや災害ベンチ、災害時簡易トイレ (マンホールトイレ) 等の設備を被災者の支援を行う市の職員やボランティアの方々に活用していただきます。

2019年度からは、河内長野市と協力体制の見直しを図り、台風等の災害時にも、市役所の災害対策情報を共有化できるようになりました。

●災害時支援施設

①都市ガス代替設備

災害時に都市ガスの供給がストップしてもプロパンによる代替ガスで非常用電力の発電が可能



マンホールトイレ

②マンホールトイレ

トイレ問題を解決し支援活動をサポート

③駐車場

駐車場運営会社と契約し、災害時には支援を行う方々に駐車場を提供



井戸

④ショールームやセミナー室

支援者の待機場所として提供

⑤井戸

ろ過装置と併せて使えば飲料水になる

⑥かまどベンチ

災害時にはかまどになるベンチで炊き出しが可能



災害ベンチ (かまどベンチ)

② 地震・災害への対策

昨今激甚化している地震・災害に対するより一層のレジリエンス(回復力、復元力)の向上を目指して、さまざまな安全対策を講じています。

1. 耐震性に優れたガス導管の採用

道路に埋設されている低圧ガス導管は、大規模地震による被害を最小限にとどめるために、耐震性に優れたポリエチレン管等を採用しています。

当社耐震化率 99.6% 2021年度末実績
全国平均耐震化率 90.3% 2020年度末実績
耐震化率(%)=耐震性に優れたガス導管の延長/ガス導管の総延長



ポリエチレン管への取替作業

ポリエチレン管の特性として以下の様なことが挙げられます。

- ・金属ではないため、腐食する心配が無い
- ・軽量で可とう性に優れ、施工が容易である
- ・耐震性に優れ、地盤沈下や地震に強い

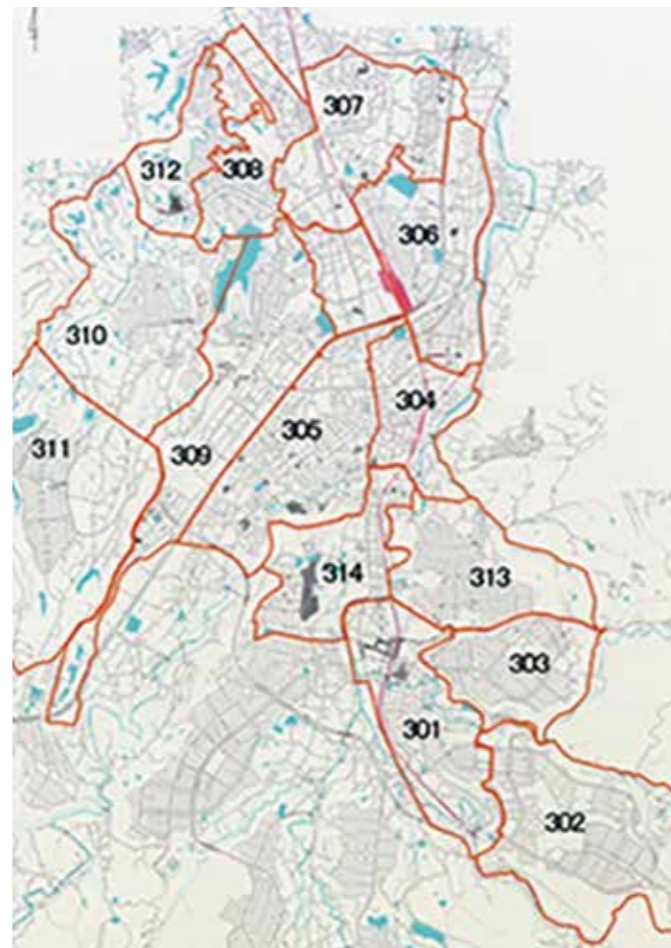
2. 緊急動員体制

供給区域内で震度5弱以上の地震が発生した場合は、休日夜間でも全従業員(役員を含む)が出社することを規定しています。また地震以外の災害発生時には、緊急呼び出しシステムで出社の要請をいたします。

3. 地震発生時の緊急対策

大規模な地震により被害が発生した場合は、河内長野ガスの保安規程に定める「地震災害対策要領」に基づき、対策本部を設置して情報を収集・集約し、迅速かつ適切な措置を実施します。地震の規模によっては、二次災害の防止のため、お客さま宅へのガス供給を停止することがあります。

河内長野ガスでは、ガス供給を停止した場合においても、停止範囲の制限や素早い復旧作業に取り掛かれるよう供給区域のブロック化を行っています。



ブロック化された供給区域

4. 教育・訓練

河内長野市が大きな被害を受けると想定される地震災害や近年被害が甚大化している台風豪雨等の異常気象に備え、各種要領書の整備や全従業員による訓練を実施しています。

また、ガス漏れ等の緊急時対応に備え、業務機会等を通じて研修、教育を実施しています

●実技教育の様子



実技教育



地震訓練



5. 災害時に強いプロパンガス(LP)

プロパンガス(LP)は、ガスが充てんされた容器を各家庭に届ける「分散型エネルギー」です。これにより配管など供給設備の点検も短時間で済み、異常があった場合でも迅速に復旧することができます。

プロパンガス容器は、1本を予備用として2本設置、常に予備が1本あるので災害時にも役立ちます。

V 快適な生活をご提案

私たちの約束2

私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。



1 快適な生活をご提案

① お客さまの生活を快適にするリフォームのご提案

リビングセンター長野は37年にわたり、リフォームを通してお客さまの「理想をカタチに 快適に住まう空間創り」を実現してきました。

河内長野を中心に、施工担当者とコーディネーターがペアとなって、キッチン、浴室、トイレからバリアフリーリフォーム、耐震補強工事に至るまで、お客さまのご要望にお応えしています。

お客さまから信頼され、ご相談いただく中で、私たちの手掛けるリフォームは、様々な賞をいただくことができました。これからも「家じゅうまるごとサポート」を合言葉にお客さまのライフスタイルに合わせ、培ったノウハウを活かして理想の空間創りをご提案いたします。(2022年3月現在 延べ施工実績 17,144件)



当社施工事例

過去の受賞歴

2014年2月	TDYリモデルスマイル作品コンテスト2013 ブロック別部門 優秀賞
2014年5月	全国トクラスリフォーム選手権 エリア版 最優秀賞
2018年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2018 クリナップ賞
2019年12月	ジェルコリフォームコンテスト2019 近畿大会 ベストリフォーム賞
2020年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2020 プラチナ賞
2021年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2021 プラチナ賞

② 省エネ設備の普及拡大へ

省エネ設備には、節水型トイレ・節水シャワー・エコシングル水栓や内窓設置・断熱改修等が挙げられます。これらの商品を使用して頂くことで節水・省エネになり家計の経済面をサポートするとともに、環境への負荷の低減につながります。

1. 省エネ設備の普及の意義

地球に様々な影響を与える温室効果ガス(CO2等)の発生を抑制するため、リビングセンター長野は、省エネ設備を提案しています。一人でも多くの方が省エネ設備を採用することで、温暖化防止とお客さまの健康で快適な生活を支えていきたいと考えています。

●省エネ設備(節水型トイレ)販売台数

	節水型トイレ
2021年度	68
2020年度	63
2019年度	77

2. リビングセンター長野が提案する省エネ設備

●節水型トイレ

従来のトイレは1回流す毎に約13ℓの水を流していました。最新のトイレに入れ替えると使用する水の量は5ℓとなり、8ℓもの節水になります。また、フチのないものや表面加工により、お手入れも楽になります。



●節水シャワー

シャワーヘッドの穴を小さくしたり、穴の数を少なくしたりといった仕組みで、通常よりも水の使用量を減らすものや、水に空気を含ませることで水の一粒子を大粒化させるものなどがあり、従来のシャワーに比べて約35%~48%の節水ができます。



●省エネレバー水栓

従来のシングルレバー混合栓では湯水混合だったレバー中央部を、水の吐水域に設定することで、無意識にレバーを操作して、知らずにガス給湯器が作動するムダを防ぎます。さらに、水と湯の境にクリック感を作り、水と湯を意識して使い分けできる構造によって約20%のガスの節約になります。

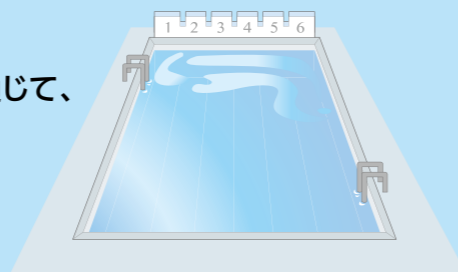


●内窓設置・断熱改修

内窓設置で室外と室内をしっかりと隔てる構造になるため、大きな断熱効果となります。外気温の影響を受けにくくなり、結露の発生を大幅に抑えることができ、冷暖房効率が上がるため電気代が節約出来ます。また、窓ガラスの枚数が増えることで防音効果も得られます。



リビングセンター長野は、節水型トイレ（便器）の販売を通じて、年間348万ℓの節水に貢献できました。これは、25mプール 7.2杯分に相当します。



3. 耐震診断・耐震補強リフォーム

2000年以前に建てられた建物は、現在の耐震基準を満たしていない可能性があります。耐震補強リフォームをすることで引き続き安心して居住いただけます。

耐震リフォームは、柱や梁自体を補強する方法、壁自体を耐力壁として補強する方法、耐震金物を使って補強する方法、屋根を軽くする方法などいろいろな方法があり、耐震診断はこれらの中から適切な補強方法を決めるために行うものです。きっちりと診断することで、最適な補強方法をご提案します。

①耐震診断

耐震診断ソフト：ホームズ君「耐震診断Pro」を使って診断を致します。この診断ソフトウェアは財団法人日本建築防災協会が認定しているプログラムで、全国の自治体や建築士団体が利用しており、診断結果は非常に信頼度の高いものです。

②耐震補強 屋根の軽量化

重い屋根材は建物に負担がかかり、それを支える力が必要です。軽量で、丈夫な屋根材に取り替えることで耐震性を高めます。



③耐震補強 壁の補強

壁の補強をすることで、地震力を壁に負担させ揺れにくくすることが出来ます。耐震改修パネルは天井、床はそのまま壁の補強をすることができます。



④耐震補強 金物の補強

木材の抜けを防ぐために強度不足の接合部を耐震金物で補強します。



⑤耐震補強 基礎の補強

20年以上前の基礎は無筋コンクリートで施工されている場合があります。鉄筋を入れた布基礎やべた基礎に比べ強度が不足がちです。このような基礎は鉄筋の基礎を増し打ちする方法と炭素繊維シートで補強する方法等があります。また、クラックの入った所にはエポキシ樹脂を注入し補修します。



2 ガス機器を通じた快適な暮らしのご提案

河内長野ガスグループは、お客さまの生活を快適にするガス機器のご提案をしています。エネルギーを使う生活から、つくる・トクする生活を実現する「エネファーム」をはじめ、寒い冬を快適に過ごすことができる床暖房やファンヒーター、毎日のお料理を楽しくするガラストップコンロ、ガスのパワーで短時間で衣類を乾燥させる衣類乾燥機まで、幅広いラインナップをご用意しています。

また、電気とガスのセットでおトクになるガス料金メニュー等を提案し、お客さまの経済面もサポートいたします。



ガス衣類乾燥機



最新型ガラストップコンロ



ガス温水床暖房



ガスファンヒーター

①環境にやさしいエネファーム、エコジョーズ普及拡大へ

エネファーム、エコジョーズの普及の意義

家で発電できるエネファームなら、遠方の発電所から送電される際の電力のロスがなく、発電時に生じる排熱を給湯などに使えるので、電気や熱のエネルギーの約85%~97%を利用でき、CO2排出量を1年間に約1.3tも削減できます(メーカー、種類により異なります)。

また、停電時には自立運転する機種もあり、いざという時も安心です。

エコジョーズは従来型のガス給湯器と比べCO2排出量を約15%削減できます。

地球温暖化の一因となるCO2排出量を従来に比べ大幅に削減します。

●エネファーム、エコジョーズの販売台数

年度	エコジョーズ		エネファーム	
	台数	前年比	台数	前年比
2021年度	179	79%	21	263%
2020年度	226	86%	8	100%
2019年度	263	—	8	—

2021年度はエコジョーズの販売を通じて年間約43t・CO2の排出を削減しました。これは、杉の木約3,100本が一年に吸収するCO2と同じ量です。



マイホーム発電
「エネファーム」



省エネ給湯器
「エコジョーズ」

②CS・KGG(河内長野ガスグループ)イノベーション部会活動

1. CS・KGGイノベーション部会の目的

河内長野ガスグループは、地域のお客さまとの信頼関係を築き、継続的な関係性を構築するために、サービス業務の拡充やプラスワンサービスの展開を目的として、全社横断的な組織であるCS・KGGイノベーション部会を開催しています。

CS・KGGイノベーション部会を通じて、ご家庭のお困りごとを解決するサービスメニューを1冊にまとめました。



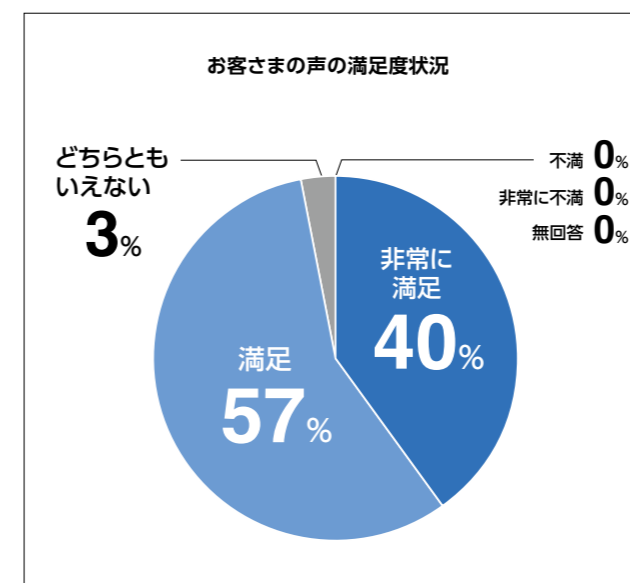
●発案されたプラスワンサービス一例

- ・河内長野ガスを経由してメーカーによる修理対応したお客さまに対する電話によるフォローサービス
- ・ご家庭のお困りごとを解決するサービス「家じゅうまるごとサポート」のご提案
- ・リフォームの竣工日を記念日として1周年目に竣工日の記念写真の贈呈
- ・お客さま宅に設置されているガス警報器の作動テストを行い、発報音の確認をしていただく

2. お客さまの声の確認

お客さまからいただいたご意見を月ごとに集計し、役員、部会メンバーで共有し、業務に活かすようにしています。

●2021年度集計結果



③お客さまの快適な生活を支える情報発信

1. 暮らしの情報発信基地「crassimo (クラッシモ)」

河内長野ガスグループショールーム「crassimo (クラッシモ)」では、最新のガス機器やキッチン、トイレ、浴室、ガスの安全機器など、お客さまの安心・安全で快適な生活を支える商品を多数取り揃え、展示しています。



ショールーム「クラッシモ」館内

●カルチャースクール等の開催

ショールーム内においてカルチャースクール「クラッシモサロン」を開講し、ヨガ、書道、手芸教室等の講習をしています。クッキングスタジオにおけるパンレッスン「クラッシモパンクラブ」では材料の一部に河内長野市の里山における小麦栽培体験(NPO法人里山ひだまりファーム様主催)で収穫された小麦を使用しました。

※「クラッシモパンクラブ」は2022年3月をもって終了しました。

●カルチャースクール開催実績(回)

	クラッシモサロン	クラッシモパンクラブ
2021年度	286	32
2020年度	191	32
2019年度	240	—

※2020年2月から7月までは緊急事態宣言のため、クラッシモサロン・クラッシモパンクラブは中止いたしました。

●楽しいイベントの開催

「crassimo (クラッシモ)」では親子で気軽にご参加いただけるイベントを開催しています。ファミリーデーの特別教室では、廃油を使って石けんとキャンドル作りに挑戦し、リサイクルしながら石けんが出来るまでの工程を体験していただきました。他にも親子クッキング等を開催し、たくさんの方にご参加いただきました。

河内長野市商店連合会様のハロウィンイベント「街中でトリックオアトリート」にも協賛し地域に開かれたショールームを目指しています。



ファミリーデーの様子

●「Crassimo (クラッシモ)」の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取り組み

- ・スタッフのマスク着用・手指のアルコール消毒・検温
- ・定期的な換気、受付カウンターや商談コーナーに飛沫防止のアクリルボードを設置し、商談ごとに消毒
- ・ご来館者様には、事前予約のご案内、マスクの着用・手指のアルコール消毒・検温



検温・消毒・飛沫防止のアクリルボードで感染対策

2. 豊富な情報発信ツール

河内長野ガスグループでは暮らしの情報誌「crassimo NAVI」を年4回発行しています。最新設備を取り入れたリフォーム事例を施主様へのインタビューと豊富な写真による紹介や河内長野ガスグループのイベント情報、クラッシモサロンのご案内、ガスを安全にお使いいただくための情報、地元で話題のお洒落で美味しいお店の紹介など盛りだくさんの内容となっています。

また、河内長野ガスグループショールーム「crassimo (クラッシモ)」のFacebookやLINE公式アカウントではお得なキャンペーンのお知らせや暮らしに役立つ様々な情報をいち早くお届けしています。ぜひお友だち登録をお願いします。



「Crassimo NAVI」



クラッシモ LINE公式アカウント



Facebook

子どもたちの明るい未来のために

私たちの約束3
 私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、
 緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。



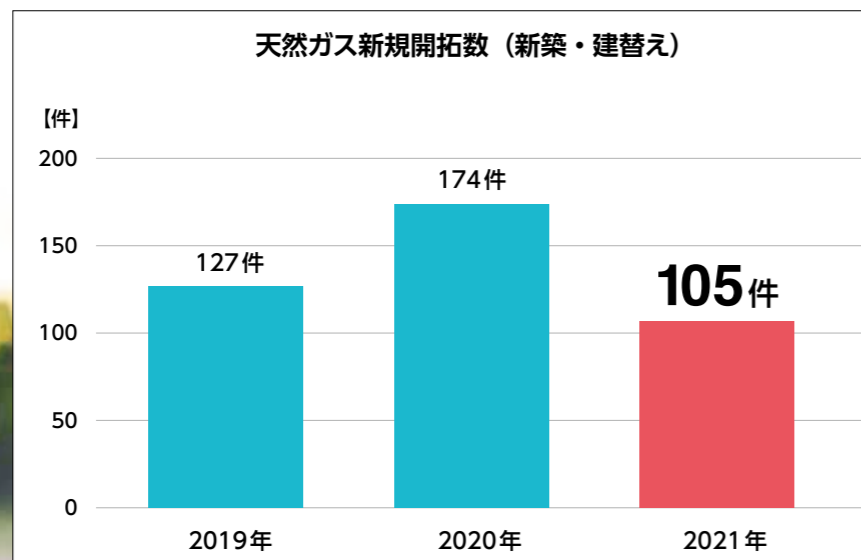
1 環境への取り組み

私たちは、エネルギー供給会社として、環境への配慮の重要性を理解しています。天然ガスの普及拡大による低炭素化を推進すると共に、本社社屋には、省エネ、環境面の配慮が施されています。

① クリーンエネルギー天然ガスの普及拡大

河内長野ガスが供給する都市ガスの主原料である天然ガスは、燃焼時において、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素(CO₂)の排出量が、石油や石炭に比べて少なく、また、世界各地に豊富に埋蔵されているため、安定供給しやすいという利点があります。

河内長野ガスは、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大に努めて参ります。2021年度は、105件の新しいお客さまへ天然ガスを供給開始いたしました。



② 省エネ・環境性に配慮した本社社屋

建築環境総合性能評価(CASBEE) *最高Sランクを取得した本社社屋は、2014年に「コージェネ大賞」民生用部門 優秀賞、「BCAOアワード2014」企業防災部門 企業防災賞、「第8回大阪サステナブル建築賞」優秀賞を受賞いたしました。

※建築環境総合性能評価システム(CASBEE)とは、建築物の環境性能で評価し格付けする手法で、省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

1. 自家発電

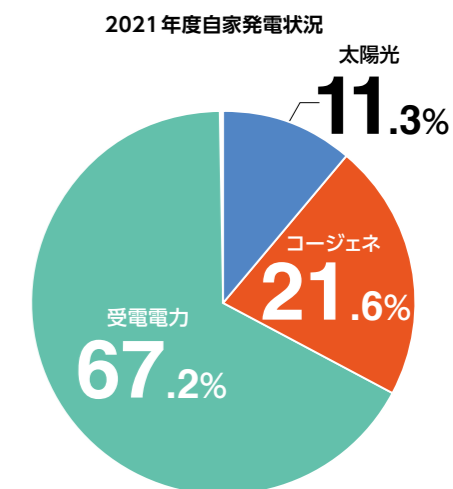
社屋屋上に20kwの太陽光パネル及び35kwのガスコージェネレーションシステム 2台を設置し、自家発電により社屋で使用する全電力の約33%をまかっています。



太陽光パネル



ガスコージェネレーションシステム



2. 河内材の使用について

河内長野市は豊かな森林に恵まれ、古くから河内林業地として木材を生産してきました。河内長野ガスグループ本社社屋は、この地場産の河内長野杉を床面や壁面に用い、木の温もりを感じる空間になっています。



社屋内の様子

3. 省エネを実現する機能

セミナー室や風除室は、ペレット式空調で冷暖房をしています。これは間伐材を利用した木質ペレットを燃焼させる空調機で、森林資源の循環により、カーボンニュートラルで温暖化防止に貢献するシステムです。ペレット式空調を使用する際に排出される焼却灰は農業用肥料として効果が期待でき、地域貢献の一環として、NPO法人里山ひだまりファーム様に提供しています。

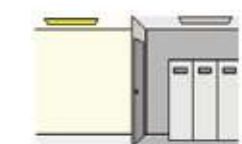
社屋の外壁にはひさしを設け、視界を確保しながら日射を抑制し、室内への熱の流入を防いでいます。

廊下、トイレ、更衣室には、人感センサーを設置し、人を感じると照明を点灯、人がいない場合は自動的に照明を消灯することで、省エネを図ります。



ペレット式空調屋外機

ひさしによる日射抑制



不在時照明OFF



在室時照明ON

③社内活動

1. グリーン購入

文具や備品の購入にあたっては、環境に配慮した物品を購入すること及び環境への取り組みに熱心な事業者から購入することに努めています。2021年度は購入商品のうち約7割をグリーン購入致しました。



●グリーン購入品目実績(一例)

- ・紙類…印刷用紙、衛生用紙(トイレトーパー)、封筒など 計8品目
- ・文房具類…ボールペン、ファイル、バインダー、のりなど 計70品目程
- ・作業衣類…制服、作業服(ペットボトル再生樹脂使用)、作業用手袋など

2. 近隣清掃活動

河内長野ガスグループは、河内長野市の掲げる市と民間企業等が協力して地域に愛されるきれいな道路づくりや地域の環境美化に取り組む「河内長野アドプト・ロード・プログラム」に賛同し、「アドプト・ロード・プログラム」と名付けた本社周辺の歩道の清掃活動(街路樹の落ち葉拾い、雑草除去など)を全従業員(役員を含む)で定期的に行っています。アドプト(adopt)は、英語で「養子縁組をする」を意味し、1980年代半ばにアメリカで始まった制度で、地域住民の道路愛護精神の定義と道路利用マナーの向上を啓発しようとするものです。



近隣清掃



●過去3年間の実績

	回数	実施日
2021年度	10	4月9日、5月7日、6月8日、7月9日、10月5日、11月2日、12月10日、1月18日、2月8日、3月11日
2020年度	6	4月7日、10月9日、11月6日、12月8日、2月9日、3月9日
2019年度	6	5月9日、6月13日、11月21日、12月27日、2月7日、3月6日

2 地域貢献への取り組み

河内長野ガスグループは、地域の将来を担う子どもたちの健やかな成長に寄与することや地域団体との連携により地域の発展に貢献することを目的に、長年にわたり地道な活動を行っています。

①次世代育成活動

河内長野ガスグループは2006年度から河内長野市教育委員会と連携し、河内長野市内の各小学校を対象に地球温暖化問題を中心とした「小学校出前教育プログラム」を、2021年度までに延べ60の小学校に129回の授業を行いました。

●2021年度の実績

- ・石仏小学校5、6年生
(2021年11月2日、22日)



授業の様子

●地域団体と連携して実施した活動例

「放課後子ども教室」

河内長野市立林業総合センター・木根館(きんこんかん)が河内長野市教育推進課から委託を受けて、森林ESD(持続可能な社会を構築するために必要な能力等を養う、森林等を教材にした教育)に基づき実施する課外授業「放課後子ども教室」にスタッフとして参加し運営に協力しています。(2021年度はコロナ禍により開催はありませんでした。)

当社ホームページ新着情報 「放課後子ども教室」活動紹介 (<http://www.naganogas.co.jp>)

「ワンぱっくアドベンチャー」

河内長野市内の小学生たちが川で生き物を探するなど地元・天野地区の野山を散策する教室「ワンぱっくアドベンチャー」(天野公民館に事務局を置くワンぱっくアドベンチャー実行委員会)に2020年度から協賛を実施し、当日のボランティアスタッフを従業員から募集しました。2021年度も従業員がボランティアとして積極的に参加しました。



ワンぱっくアドベンチャーの様子

河内長野市ホームページ ワンぱっくアドベンチャーについて (<https://www.city.kawachinagano.lg.jp>)
当社ホームページ新着情報「ワンぱっくアドベンチャー」活動紹介 (<http://www.naganogas.co.jp>)

2 ショールームの地域貢献活動への取り組み

河内長野ガスグループショールーム「crassimo (クラッシモ)」では地域への貢献活動として、河内長野市社会福祉協議会様や日本ライトハウス様等の募金箱を設置しています。

イベント時は、リフォーム工事の際に発生する壁紙などの端材をDIYにご利用いただけるよう処分市を開催しています。売上げを両団体様に寄付させていただくことで円滑な運営に協力するとともに、廃棄物の削減に努めています。

また、河内長野市の高齢者公共交通利用促進事業の「まちなかクーポン配布事業」にも協賛し、まちなかクーポンを持参されたお客さまには粗品をプレゼントしています。

他にも乳幼児を連れた保護者が外出中におむつ替えや授乳ができるスペースのある施設「赤ちゃんの駅」として登録されています。

インフォメーションコーナーでは大阪府警察様の特殊詐欺被害防止ポスター、河内長野市自治安全部危機管理課様の自動通話録音装置貸し出しの案内や新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に関するご案内を掲示し、地域の皆様への情報発信を行っています。



DIY素材処分市コーナー



地域の情報を掲示する
インフォメーションコーナー



日本ライトハウス
盲導犬訓練所様へ寄付



「赤ちゃんの駅」
ロゴマーク

VII 働きやすい職場づくり

私たちの約束4

私たちは思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくりまします。



私たちは、従業員一人ひとりが仕事を効率化して、生産性をあげ、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境をつくっていきたくと考えています。

1 やりがいのある職場

① 人事制度

1. 評価制度

各部署の事業計画・方針に基づいて各自目標シートを作成し、業務を遂行しています。目標達成度合いに応じて評価がなされます。

2. 資格取得支援制度

従業員の資格取得や自己啓発を奨励し、従業員のスキルアップを目指しています。業務に関係する資格の場合、会社が費用を負担するなどバックアップをおこなっています。また、資格取得は昇格要件にも含まれています。

2 働きやすい環境

① 働き方改革

1. 有給休暇取得の促進

有給休暇取得の推進は、仕事と生活の調和が実現し、働く意欲の増進に繋がると考えています。業務に支障が出ないよう部署内で調整し、積極的に取得することを促しています。

● 有給休暇平均取得日数

2021年度	2020年度	2019年度
10.4日	9.3日	8.9日

2. テレワークの実施

従業員の働き方や業務内容により、必要に応じてテレワークを実施しています。また、新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるために社内でもWEB会議ツールを活用しています。

3 安全衛生への取り組み

① 安全衛生委員会

月1回開催される安全衛生委員会では、部署の垣根を越えた安全面・衛生面に関する情報共有、従業員の要望・意見をまとめて議論するなど、よりよい職場環境づくりを目指し活動しています。

② リビング協力会社安全大会

リフォーム業務を営むリビングセンター長野では、1年に一回協力関係業者様（メーカー、商社、工務店、設備業者）にお集まりいただき、安全大会を行っています。安全大会では現場での危険箇所・危険行為・道具の使用法・工事中の安全行動などの研修を行っています。

また、外部講師による個人情報取扱いやコンプライアンスについての講義をいただいています。

③ 従業員の健康を配慮した取り組み

従業員の健康に配慮した取り組みとして、全従業員（役員含む）が受診する健康診断では、通常より検査項目を増やし、希望者には自由にオプションを追加できるようにしています。また、インフルエンザの予防接種を希望者に対して実施し、ストレスチェックも行っています。更に毎朝のラジオ体操の励行やクラブ活動への補助、本社建物内は全面禁煙としています。

● ストレスチェックの実施率

年度	ストレスチェック
2021年度	97%
2020年度	92%
2019年度	88%



4 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染症対策として、河内長野ガスグループでは、協力会社を含めた全従業員（役員含む）は以下の取り組みを徹底し、ガスの安定供給、サービス業務や保安の確保に支障が出ないよう業務を遂行しています。

● お客さま宅訪問業務について

- ・マスクの着用・手指のアルコール消毒
- ・ご了承を得た上での最小限の室内立ち入り など

● 事務所等の感染拡大防止について

- ・マスクの着用・手指のアルコール消毒
- ・従業員及びお越しになる取引先さまの検温
- ・執務場所や会議での適切な人と人との距離を確保 など



事務所内各所にアルコール消毒を設置



会議室や打ち合わせコーナーに設けられた間仕切り



⑤地域の発展を願う河内長野ガスの新たな価値創造への取り組み

河内長野ガスグループの長期ビジョンには「地域のお客さまの笑顔ナンバーワン企業」と「地域のお客さまに最も信頼され、支持される企業」の2つが掲げられています。これは、社名のとおり河内長野に拠点を置き、顧客の100%が河内長野にお住まいであるという、河内長野ガスならではの特色が為せるビジョンだと思っています。

これほど地域社会に密着した企業は全国規模で見ても稀有な存在です。そうであるが故に、河内長野ガスグループは河内長野とともに歩み続け、地域発展のために存在し続けなければなりません。

河内長野ガスグループは本レポートにもありますとおり、行動指針を具現化する取り組みの1つとして、2020年度に全社横断組織である「SDGs 部会」を発足しました。様々な活動を重ね、グループ従業員のSDGsに対する意識も高まりを見せています。

SDGsは、深刻化する地球規模の課題に向き合い、持続可能な社会を未来に残すため、大きく17に分けられた国際目標です。一見すると、テーマも大きく、自分事として考えにくいかもしれませんが、河内長野ガスグループにおける日々の活動・取り組みは、何らかのかたちでSDGsに掲げられた17の目標とリンクしており、地域課題の解決にもつながっています。

高齢化社会が進み、新型コロナウイルスへの不安も残るなど、将来の見通しが立たない日々が続いています。加えて、資源高にともなうコスト意識の高まりにより、電気・ガスといった日常生活に欠かせない各種エネルギーに対する不安まで押し寄せています。

コロナ禍により、これまでとは違う価値観が生まれ、行動も変容してきました。そのような中、河内長野ガスグループには、お客さまの「笑顔」と「信頼」を守るため、エネルギーの供給に「+α」の付加価値をつけた行動が求められます。

元気な地域には元気な企業があります。元気な企業のある街には元気な住民がいます。河内長野には地域の安全を守り、安心を届ける河内長野ガスグループが根付いています。河内長野ガスグループは新たな価値創造・価値提供ができる企業である、と期待を寄せていただき、河内長野に共生するパートナーとして温かいご支援を賜りますようお願いいたします。



追手門学院大学 経営学部学部長 水野浩児教授



Kawachinagano Gas
河内長野ガス株式会社

河内長野ガスグループ
株式会社リビングセンター長野